

7日 火曜

ヨハネ

2:13 さて、ユダヤ人の過越の祭りが近づき、イエスはエルサレムに上られた。

2:14 そして、宮の中で、牛や羊や鳩を売っている者たちと、座って両替をしている者たちを見て、

2:15 細縄でむちを作って、羊も牛もみな宮から追い出し、両替人の金を散らして、その台を倒し、

2:16 鳩を売っている者たちに言われた。「それをここから持って行け。わたしの父の家を商売の家にしてはならない。」

2:17 弟子たちは、「あなたの家を思う熱心が私を食い尽くす」と書いてあるのを思い起こした。

2:18 すると、ユダヤ人たちがイエスに対して言った。「こんなことをするからには、どんなしるしを見せてくれるのか。」

2:19 イエスは彼らに答えられた。「この神殿を壊してみなさい。わたしは、三日でそれをよみがえらせる。」

2:20 そこで、ユダヤ人たちは言った。「この神殿は建てるのに四十六年かかった。あなたはそれを三日でよみがえらせるのか。」

2:21 しかし、イエスはご自分のからだという神殿について語られたのであった。

2:22 それで、イエスが死人の中からよみがえられたとき、弟子たちは、イエスがこのように言われたことを思い起こして、聖書とイエスが言われたことばを信じた。

2:23 過越の祭りの祝いの間、イエスがエルサレムにおられたとき、多くの人々がイエスの行われたしるしを見て、その名を信じた。

2:24 しかし、イエスご自身は、彼らに自分を



お任せにならなかった。すべての人を知っていたので、

2:25 人についてだれの証言も必要とされなかったからである。イエスは、人のうちに何があるかを知っておられたのである。

宮の中には神様への信仰を利用して、金儲けをする人々で溢れていました。商売が悪いのではありません。神の聖なることを利用してはならないのです。礼拝の目的を曲げてはならないのです。教会がそうならないように気をつけなくてはなりません。

イエス様は「三日でよみがえらせる。」と言われましたが、これは十字架の後三日目によみがえったことをあらわしています。このことが後に実際に起こって、多くの人々がイエス様を信じました。イエス様の出来事が単なる偶然ではないことがわかります。

神様を自分の利益に使うのではなく（それは7神殿で商売をしているようなものです）、神様の主権によるご計画を認めて、主に従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

